



2022.1.16

ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会
akatsukanironso@gmail.com

赤塚公園
サービスセンター
03-3938-5715



編集責任：運営サポーター／木村

Since 1982 ニリンソウ保護活動 40 周年

赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

◆2月の活動は2/20(日) 大門観察台 10:00

Dブロックのヤエムグラの抜き取り

ロープ柵で囲んだエリアの枯草整理など

◆ニリンソウ月間＝予定・準備中
3/19(土)～4/17(日)

★手伝ってください！ 誰でも参加できます！

飛び入り参加も歓迎！

<2022年最初の手入れ作業>

八丁目の林の草刈りと 残枝の整理を行い すっきりさせました



この場所は、都内最大のニリンソウ自生地とも赤塚城址とも切り離された場所だからでしょう、ここにしか生きていない珍しい野草が咲く場所です。昔から保護活動を続けてきました。「赤塚公園ニリンソウを守る会」の新年最初の活動は1/16、ここから開始しました。



← 昨年の同時期に行った手入れも1年経つと左のようにアズマネザサが伸び放題。それを右のよう刈り取ってすっきりとさせました。野草が出やすい環境づくりです。 →



フェンスの外側は、アズマネザサのほかにクサギの実生木が思いのほかたくさん生えていて、それをどなたかが枝払いしてくれたようで、フェンスの中には枯れ枝が積まれていました。実生木は根元から切り取り、投げ込まれた枝は一か所にまとめて整理しました。フェンスの中もクサギがたくさん生えていましたが一斉に整理。増えすぎているシャガは選択的に抜き取りました。



←
クサギ
の伐採
前と後
→
シャガ
はここ
では残
しまし
た



← 毎年6月にはオカトラノオが咲く場所。この数年、勢いが衰えていたのですが、今年に期待がかかります。また、昨年からの辺りにニリンソウの群落が出現。これも要観察です。



ここにしかない植物をマーキング→

フェンスに絡めて赤いリボンが結ばれているのは、赤塚公園広しと言えどもここにしか生きていないナワシロイチゴのマークです。5月に咲く花（写真右下）はとっても地味なのですが、大切にしてください。

この「八丁目の林」は、このほかにヤマユリ、ヤブカンゾウ、ママコノシリヌグイ、サルトリイバラ、キンエノコロ、シラヤマギク、シロヨメナなどが生育、南側の擁壁の上の斜面にはゴンズイ、センニンソウなど、これまた他ではめったに見られない野草や樹木が生きている場所です。



1/16の作業参加者 13名

毎回の作業計画は参加者 20 名を見込んで立てています。1/16の参加者は 13 名でしたが予定通りの作業が行えました。頑張りました。ありがとうございました。さらに、多くの方々が手入れ活動に参加していただければもっと豊かな「野草の楽園」が蘇るでしょう。それは昆虫や野鳥の生き物にとってもよい環境であり、何よりもわたしたち人間にとって、自然に囲まれた暮らしを与えてくれることでしょう。